

フォーラム **認知症新時代**

いきいきと暮らすために

～医療・介護・地域の支え合い～

安心、安全って何だろう。人はいつだって自由でいたい。誰かとつながっていたい。

それは、認知症の人だって同じ、私だってあなただって。自分のこととして考えてみてほしい。

少しだけもの忘れがあったって、出来ないことが増えたって、自分の思いや希望、やりたいことや行きたいところがある。

そんな当たり前のことを地域のすべての人が叶えられるように。

本人・家族・医師、そして地域の人々が集い語り合います。



イラスト/左藤芳美

参加募集中

日時 **2016年 11月 25日(金)**

開場/午後0時30分 開演/午後1時 終演/午後3時45分(予定) ※途中休憩あり

会場 **町田市民ホール**

住所: 東京都町田市森野2-2-36

定員 **800名** **参加無料**

事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

交通

- 小田急小田原線『町田駅』西口から徒歩約7分
 - JR横浜線『町田駅』中央改札口(北口)から徒歩約10分
 - 神奈川中央交通バス『町田市役所市民ホール前』停留所から徒歩約1分
- ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



出演者プロフィール

本人・家族

生川 幹雄 いかわ みきお

認知症とともに歩む人 本人会議

2014年に仕事を辞めた途端、自分がどこにいるのか分からなくなる症状に襲われ、アルツハイマー型認知症と診断される。恐怖と絶望で家から出られなくなり、一時は死も覚悟した。しかし、妻が探した相談窓口「まちの保健室」を訪れたことをきっかけに、同じ病を抱える人に巡り会い、勇気ももらう。何度も本人同士で語り合ううちに、自分たちの会合を「認知症とともに歩む人本人会議」と呼ぶようになり、認知症の体験や思いを発信する啓発活動を始める。認知症に対する世間の誤解を解き、新たに認知症と診断される人々を励まし勇気づける役割を担いたいと考えている。

濱畑 俊子 はまはた としこ

玉川学園 本人会議

二人の子どもを育てながら化粧品販売で66歳まで働く。退職後は夫と旅行を楽しむ生活を送っていたが、2013年に夫が他界。その後、徐々にもの忘れが目立ち始め、好きだった読書も難しくなっていた。2015年に認知症と診断され、現在は自宅で過ごす。「音を立てて崩れていく」というように、記憶力などが衰えていくことに戸惑いや不安を感じていたが、認知症の人の集いに参加して、本人たちからの言葉に勇気づけられる。周囲の人と交流しながら、出来るだけ長く今の暮らしを続けたいと願っている。

松浦 宏昌 まつうら ひろまさ

鹿島まほろば会(夫)

退職後も経理の仕事をしてきた夫が69歳のときに頭が締めつけられるような症状が現れ始め、被害妄想や怒りっぽくなり、病院を受診、アルツハイマー型認知症と診断される。その後、認知症であることを周囲に隠さず公表した。妻と一緒に地域の高齢者グループ「鹿島まほろば会」に積極的に通い続けている。認知症の進行とともに言葉が少なくなったり、着替えが難しくなるなど、妻による身の回りのサポートも徐々に増えているが、介護サービスを活用しながら自宅で暮らし続けている。

松浦 俊子 まつうら としこ

家族(妻)

さいとう まさひこ 齋藤 正彦

東京都立松沢病院 院長
精神科医

私たち医師は、認知症の症状を客観的に評価します。でも、患者さんは、記憶障害や見当識障害、実行機能の障害を主観的に体験します。私たちは、患者さんは物忘れについての病識がないと言います。でも、私が、「僕の母は、今話していたことを思い出せない」と言うとき、「今、話していたことを思い出せない」人の不安に思いを馳せることがあるでしょうか。患者さんは、症状を客観的に理解できないかもしれませんが、それ以上に私たちは患者さんの主観的な苦しみを理解することができないのです。これを認知症を診る立ち位置と思い、日々、認知症の人と向き合うことを医師の責務と感じています。

よこやま たかあき

横山 隆章

町田市いきいき生活部 高齢者福祉課
地域支援担当課長

町田市生まれ。1989年から町田市役所に勤務。納税課担当課長、職員課担当課長を経て、今年4月から現職。長年、認知症対策に取り組んでいる同課職員らとともに、認知症と診断された本人の声に耳を傾け、本人の願いを実現できるまちづくりに奮闘中。町田市独自の取り組みとして出張認知症カフェ「Dカフェ」を展開。地域で支えあい、健やかに自分らしさを感じられるまちの実現を目指す。

まつもと あやこ

松本 礼子

NPO法人ひまわりの会 理事
ケアマネジャー・介護福祉士・社会福祉士

義母が認知症になったとき、最期まで自宅で介護できなかったことを悔やみ、20年前からホームヘルパーとして高齢者介護に従事。その後、デイサービスで認知症ケアに取り組みながら、認知症の人と買い物や散歩に出かけるボランティア活動を始める。認知症と診断を受けていた生川幹雄さんから相談を受けたことをきっかけに「認知症とともに歩む人 本人会議」の活動サポート役を務める。メンバーと一緒に地域に出て認知症啓発に取り組み日々を楽しんでいる。

コーディネーター

まちなが としお

町永 俊雄

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入)
2. 郵便番号・住所
3. 電話番号
4. 参加人数

5. ご一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合)を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「認知症フォーラム 町田」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <http://www.npwo.or.jp/>

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。11月中旬以降、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。

※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤りおよび記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合がありますので、ご注意ください。

※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

先着順

定員になり次第締め切り

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

認知症フォーラム 町田	ふりがな	参加人数	< ご一緒に参加される方の名前 >
	名前		
	※必ず個人名をご記入ください。	人	
住所 〒			
※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。			
電話番号			